

1 議事日程（初日）

〔令和3年太宰府市議会第4回（11月）定例会〕

令和3年11月9日

午後2時開議

於 議 事 室

- | | |
|-------|---|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第2 | 会期の決定 |
| 日程第3 | 諸般の報告 |
| 日程第4 | 報告第13号 専決処分の報告について（市が管理する市道内のグレーチングによる車両損傷事故の損害賠償の額の決定） |
| 日程第5 | 議案第57号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第6 | 議案第58号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第7 | 議案第59号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第8 | 議案第60号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第9 | 議案第61号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第10 | 議案第62号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第11 | 議案第63号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第12 | 議案第64号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第13 | 議案第65号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第14 | 議案第66号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第15 | 議案第67号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第16 | 議案第68号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第17 | 議案第69号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第18 | 議案第70号 太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第19 | 議案第71号 市道路線の認定について |
| 日程第20 | 議案第72号 太宰府市立学童保育所の指定管理者の指定について |
| 日程第21 | 議案第73号 太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する条例について |
| 日程第22 | 議案第74号 太宰府市下水道条例の一部を改正する条例について |
| 日程第23 | 議案第75号 令和3年度太宰府市一般会計補正予算（第7号）について |
| 日程第24 | 議案第76号 令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について |
| 日程第25 | 議案第77号 令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について |

2 出席議員は次のとおりである（18名）

1 番 柳 原 莊一郎 議員

2 番 宮 原 伸 一 議員

3番 舩越隆之 議員
5番 笠利毅 議員
7番 入江寿 議員
9番 小畠真由美 議員
11番 原田久美子 議員
13番 長谷川公成 議員
15番 門田直樹 議員
17番 村山弘行 議員

4番 徳永洋介 議員
6番 堺剛 議員
8番 木村彰人 議員
10番 上疆 議員
12番 神武綾 議員
14番 藤井雅之 議員
16番 橋本健 議員
18番 陶山良尚 議員

3 欠席議員は次のとおりである

なし

4 会議録署名議員

12番 神武綾 議員

13番 長谷川公成 議員

5 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（12名）

市長 楠田大蔵
教育長 樋田京子
総務部経営
企画担当理事 村田誠英
健康福祉部長 田中縁
都市整備部理事
兼総務部理事 山崎謙悟
教育部長 藤井泰人

副市長 清水圭輔
総務部長 山浦剛志
市民生活部長 中島康秀
都市整備部長 高原清
観光経済部長
兼国際・交流課長 東谷正文
教育部理事 堀浩二

6 職務のため議事室に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長 木村幸代志
書記 平田良富
書記 井手梨紗子

議事課長 花田善祐
書記 岡本和大

開会 午後2時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（陶山良尚議員） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は18名です。

定足数に達しておりますので、令和3年太宰府市議会第4回定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

議事日程はお手元に配付しているとおりです。

議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（陶山良尚議員） 日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

今回の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、

12番、神武 綾議員

13番、長谷川公成議員

を指名します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第2 会期の決定

○議長（陶山良尚議員） 日程第2、「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から11月24日までの16日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

なお、会期内日程については、お手元に配付しております会期内日程表によって運営を進めたいと思います。また、本会議、委員会とも改めて通知を差し上げませんので、よろしくご協力をお願いします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 諸般の報告

○議長（陶山良尚議員） 日程第3、「諸般の報告」を行います。

お手元に報告事項の一覧表を配付しております。監査関係、議長会関係の資料につきましては、事務局に保管しておりますので、必要な方はご覧いただきたいと思います。

これで諸般の報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4から日程第18まで一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第4、報告第13号「専決処分の報告について（市が管理する市道内のグレーチングによる車両損傷事故の損害賠償の額の決定）」から日程第18、議案第70号「太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 皆様、こんにちは。

本日ここに、令和3年第4回太宰府市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、大変ご多用の中にご参集をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

本議会は、来る12月12日に市長選挙、市議会議員選挙が同時に執り行われますことから、例年の12月定例会を前倒しして開催するものであります。議員の皆様にとりまして、そして私にとりましても、今任期中最後の定例会となります。また、一部の勇退される議員の方々にとりましては最後の議会ともなります。そうした節目の議会に際し、敬意と緊張感を持って臨んでまいりたいと存じます。

私自身、去る10月12日、2期目に向け再度出馬することを正式に表明しました。しかし、ここに至るまで、私なりに葛藤があったことも事実であります。

改めて1期目を振り返りますと、1年目は未曾有の混乱からの脱却、2年目は令和発祥の都としての飛躍、3年目以降は未知の新型コロナウイルスとの戦いと、一年一年異なる難題に立ち向かう起伏の激しい4年間となりました。しかし、その間も一貫して市議会、職員、市民の皆様と心を一つに市政を運営することを心がけ、おかげさまでここまで全ての議案を可決いただき、市税収はこれまで約2億4,000万円増、ふるさと納税は10倍となる約4億円増を記録しました。また、昨年の住みよい街で20位、直近の市区町村魅力度で40位、戻りたい街で4位、商業地価上昇率8位など軒並み過去最高の全国上位を記録し、就任時の太宰府を日本を代表する都にとの目標もおおむね達成できたと考えております。当初不安にさいなまれたコロナ禍も、質、量、スピードともに確保した先進的な対策や予算、太宰府モデルと銘打ったスムーズなワクチン接種などにより、観光客激減や学校休校などの影響を最小限に抑える成果を一定程度得られたと自負しております。

しかし一方で、地元出身でもなく42歳の若輩であった私が、副市長も教育長も旧知の職員も不在の市役所で徒手空拳の中から未曾有の混乱からの脱却を実現するには、就任直後から日々刻々細心の注意を払い続ける必要がありました。また、恐らく史上初となる元号の直接のご縁をいただいた自治体となったプレッシャーは並大抵のものではなく、令和発祥の都として飛躍を遂げるために、直後の10連休はもちろん、1年近く休み返上でアイデアを出し続ける必要が

ありました。

そして、予期せず訪れたコロナ禍は令和の喜びを一瞬で吹き飛ばし、未知のウイルスに立ち向かうべく前例のない予算の組替えや各種対策、補正予算を矢継ぎ早に打ち出すため、まさに寝食を忘れて策を練る必要に迫られました。その集大成となるワクチン接種は戦後最大の国家プロジェクトといわれ、国、県からのワクチン供給や筑紫地区5市共同での枠組みなどに縛られる一方、批判は全て市に集中するという絶対的に苦しい状況での対応に日夜追われました。これに加え、毎年のように迫りくる豪雨災害のおそれ、構造的な財政状況の厳しさ、多岐にわたる行政ニーズのさらなる高まり、渋滞問題に象徴される観光客と市民との温度差の解消など、積年の課題の解決にも24時間365日集中せねばなりません。

プライベートも全てなげうったこのような激務にこの先も耐えられるのか、そもそも私にその資格や能力があるのか、もっとふさわしい生き方があるのではないかと、本気で自問自答し、周囲に相談することも一度や二度ではありませんでした。しかし、そうした中でも絶えず激励し、期待をかけてくださる市民の方々がいました。慕い、声をかけてくれる子どもたちがいました。叱り、注意してくれる仲間がいました。そして、共に悩み、苦しみ、協力し、意見してくれる職員が確かにいました。

四半世紀前、21歳の頃、父が落選し引退を余儀なくされたことで覚悟を決めた政治の道、18年前の本日、28歳で衆院初当選し始まった政治家人生、三たび落選し一度は引退を覚悟した4年前、そして負ければ最後と決め、退路を断った前回市長選。いつのときもやはり私を突き動かしたのは、世のため人のために少しでもお役に立ちたいという一心でありました。そして、自らの能力に限りはあるけれども、求められる限りは持てる力を出し尽くして、悔いのない人生を送りたいという願いであります。そうした思い、願いと、これまでの政治家人生を見詰め直し、大切な仲間や職員、次代を担う子どもたち、前回の戦いで私を政治の世界に呼び戻していただいた太宰府市民の皆様に思いを致すとき、いましばらくお役に立たせていただこうと決意をいたしました。

もちろん、コロナ禍が今なお続き、観光客の激減や経済活動の縮小、市民生活への打撃などによる影響はむしろこれから出てまいります。解決すべき従来からの課題も厳然と横たわり、今後の市政運営はさらに困難を極めると考えられます。もとより浅学非才ではありますが、世のため人のため、市のため市民のために、求められる限りは私の持てる力を出し尽くしお役に立たせていただく覚悟に至りましたので、今後とも議員各位、そして市民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍も緊急事態措置解除により、少しずつ経済活動が再開してまいりました。本市でも陽性判明者がゼロの日が続くようになり、観光客をはじめ人の流れも一定程度復活してまいりました。間もなく年末年始を迎える中、市民の皆様をはじめ、観光や参拝、帰省される方々なども安心して過ごしていただけるよう今後も最善を尽くしてまいります。そして、ワクチン接種では、スムーズな予約、移動、接種をコンセプトに太宰府モデルを実施し、対象世代

の希望するほぼ全ての方が2回接種を終えることができ、接種会場でありましたいきいき情報センター及びとびうめアリーナは一旦接種を終了することといたしました。これまで力を尽くしてくれた職員はじめ関係各位には本当に頭が下がる思いであります。今後は、保健センターにて接種を続けてまいります。

5月からスタートいたしましたワクチン接種により、これまで半年近くにわたり施設利用ができずご迷惑をおかけしておりましたが、感染状況もかなり収まり、集団接種を一旦終了できますことにまずは胸をなで下ろしております。今後は3回目の接種も行うよう予定しておりますが、まずは年内2施設を皆様方にご利用いただけます。

コロナ対策を行いつつ、施政方針や太宰府市まちづくりビジョンに掲げた事業も着実に進めております。まちづくりビジョンの4つの構想に沿って振り返りますと、底力総発揮構想については、令和発祥の都「梅」プロジェクトによるうめんべいやう明太フランス、梅ジュレなどの新商品開発、サテライトオフィス開業、総務省、西鉄との人事交流、企業版ふるさと納税の開始などを行いました。

全世代居場所と出番構想については、学校へのデジタル教科書やドリルの導入、市内民間企業と連携したSTEAM先進教育の実施、中学校ランチサービス無料試食会の実施、就職氷河期世代の採用、中学生の子ども医療費助成の拡大、国民健康保険税の未就学児に係る均等割の減免、新たな保育施設の公募、第2つばさ学級の開設などを行いました。

大太宰府構想については、史跡指定100年を記念した諸行事の開催、全国史跡整備市町村協議会太宰府大会の開催、日本遺産活用に向けた県及び関係市町村などとの連携、文化財保存活用地域計画素案の作成、令和発祥の都PRキャラクターを活用したシティプロモーションの展開、太宰府市交通情報案内システムのライブカメラ新設などを行いました。

持続可能な太宰府構想については、第四次環境基本計画の策定と気候非常事態ゼロカーボンシティ宣言、ペット避難所開設など防災機能の強化、にしのまどぐちの開設、証明書のコンビニ交付開始、公共施設維持管理の手引きの作成、五条エリアのまちづくり勉強会の開始、ホームページのリニューアル、RPA実証に向けた職員説明会の開催などを行いました。

今後も、太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略、まちづくりビジョンに掲げる4つの構想と戦略を着実に実行いたしまして、令和の都太宰府をさらに羽ばたかせるとともに、地方自治体や我が国、世界に共通する課題を先進的に解決する課題解決先進都市を目指してまいります。引き続き、議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、本日もご提案申し上げます案件は、専決処分報告1件、人事案件14件、市道路線認定1件、指定管理者指定1件、条例改正2件、補正予算3件、合わせて22件の議案のご審議をお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。

報告第13号から議案第70号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、報告第13号「専決処分の報告について（市が管理する市道内のグレーチングによる

車両損傷事故の損害賠償の額の決定) 」についてご説明申し上げます。

本件は、市が管理する市道内のグレーチングによる車両損傷事故の損害賠償の額を定めたものであります。令和3年8月14日、被害者が市道を車で走行中、対向車と離合するために道路左側に車を寄せて側溝のグレーチング上を走行したところ、グレーチングが跳ねて車の下に巻き込み、車両左側後方のバンパー及び車両左側の底部を損傷する事故が発生したものであります。その後、相手方と協議を行い、車両の修理費用を支払うことで合意に至りました。この事故による損害賠償の額を定めることについて、令和3年9月15日付で専決処分を行ったものであります。この専決処分につきましては、地方自治法第180条第1項に規定する議会の委任による専決処分でありますので、同条第2項の規定により報告するものであります。なお、賠償金につきましては、本市が加入する道路賠償責任保険から全額相手方にお支払いいたします。

次に、議案第57号から議案第70号までの「太宰府市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて」を一括してご説明申し上げます。

本件は、現太宰府市農業委員会の委員14名について、来年4月8日をもって任期満了を迎えることから、次期3年間の委員任命を行うに当たり、農業委員会などに関する法律第8条第1項の規定に基づき議会の同意を求めるものであります。今回の太宰府市農業委員会の委員候補者の選考に当たりましては、広報「だざいふ」、市ホームページ、市役所前掲示板、地域農事組合などを通じまして約1か月間の周知を行いましたところ、地域の農事組合などの団体からの推薦及び一般の応募があり、14名を委員候補者として選出をいたしております。

略歴書をご参照の上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

これから報告第13号について質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） これで報告第13号の質疑を終結し、報告を終わります。

議案第57号から議案第70号までについて、質疑は11月11日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第19から日程第25まで一括上程

○議長（陶山良尚議員） お諮りします。

日程第19、議案第71号「市道路線の認定について」から日程第25、議案第77号「令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」までを一括議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（陶山良尚議員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長 楠田大蔵 登壇〕

○市長（楠田大蔵） 議案第71号から議案第77号までを一括してご説明申し上げます。

最初に、議案第71号「市道路線の認定について」ご説明申し上げます。

今回、認定を提案しております紺町7号線につきましては、開発により道路の帰属を受けたところです。道路法第8条第1項の規定に基づき市道路線として認定するに当たり、同条第2項の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第72号「太宰府市立学童保育所の指定管理者の指定について」ご説明申し上げます。

太宰府市公の施設に係る指定管理者の指定手続などに関する条例第2条の公募による候補者として、株式会社テノ・サポートを令和4年度から3年間にわたり太宰府市立学童保育所の指定管理者の候補者に選定いたしましたので、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定するに当たり、同条第6項の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第73号「太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

今回の改正は、令和4年1月1日に健康保険法施行令などの一部を改正する政令が施行されることに伴い、太宰府市国民健康保険条例の一部を改正する必要が生じたものであります。

改正の内容としましては、令和4年1月1日から出産に係る産科医療補償制度が見直され、当該制度の掛金が1万6,000円から1万2,000円に引き下げられることに伴い、健康保険法施行令の一部が改正され、出産育児一時金の支給額を現行の40万4,000円から40万8,000円に見直しを行うものであります。

次に、議案第74号「太宰府市下水道条例の一部を改正する条例について」ご説明申し上げます。

今回の改正は、下水道使用料の額について、水道料金等審議会の答申がありましたので、これを尊重した内容で引下げを行うものであります。

改正の内容といたしましては、下水道使用料の令和4年4月1日使用分から基本使用料及び従量使用料の値下げを実施するものであります。

次に、議案第75号「令和3年度太宰府市一般会計補正予算（第7号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ5億6,718万1,000円を追加し、予算総額を287億4,810万円にお願いするものであります。

主な内容といたしましては、経済活動が活発化しつつある中、今後年末年始を控え多くの観光客、参拝客の来訪が見込まれることから、新型コロナウイルス感染予防に万全を期すため、国からの新たな交付金も活用し、新型コロナウイルスに係る緊急支援策として、飲食店などに対して県の感染防止認証マークの取得を推進するための助成金、新型コロナウイルス検査キットの配付を事業者へも拡大し、観光客、参拝客への啓発も含めさらなる感染防止を図るための

費用、デジタルサイネージの活用による感染予防の呼びかけや、観光客の混雑状況、AI活用による今後の混雑予測を配信し観光客のスムーズな案内や混雑回避を促すための費用を計上しております。また、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を実施するための費用、小・中学校の新型コロナウイルス感染防止対策のための物品などを購入する費用を計上しております。

コロナ対策以外には、小学校通学路の安全確保をはじめとした道路安全対策に要する費用、エフコープ生活協同組合様の健康づくり支援企画として太宰府市民の森を散策するためのサイン整備などを行う費用、マイナンバーを活用して健診結果などの情報を個人へ提供し、健診結果などの利活用の拡大を図るために健康管理システムを改修する費用などを計上しております。

このほかには、新年度に向けて小・中学校の学級増などに対応するための備品や教材など購入に要する費用、障がい者支援や生活保護などのサービス利用の増加により本年度不足が見込まれる給付費を増額する予算、昨年度の各種福祉事業における国県補助金が確定したことによる精算交付金や精算返還金などを計上しております。あわせて、債務負担行為の追加を2件、地方債の変更を3件計上しております。

次に、議案第76号「令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ3,705万6,000円を追加し、予算総額を73億3,335万8,000円にお願いするものであります。

歳入につきましては、令和2年度決算におきまして確定しました8,705万6,700円の剰余金を前年度繰越金に計上するため、既決予算5,000万円との差額3,705万6,000円の増額補正であります。歳出につきましては、令和2年度に交付を受けました保険給付費等交付金の超過交付に係る償還金8,146万4,000円の償還のため、既決予算5,000万円との差額3,146万4,000円の増額補正及び償還金を剰余金から差し引いた残余分559万2,000円を国民健康保険事業特別会計財政調整基金への積立てとして計上させていただいております。あわせて、債務負担行為の変更を1件計上しております。

次に、議案第77号「令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ188万9,000円を追加し、予算総額を13億2,287万1,000円にお願いするものであります。

内容といたしましては、福岡県後期高齢者医療広域連合決算による令和2年度事務費負担金の確定に伴い、188万9,000円の返還金を歳入として計上し、同額を一般会計へ繰り出すものであります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（陶山良尚議員） 説明は終わりました。

質疑は11月11日の本会議で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（陶山良尚議員） 以上で本日の議事日程は全て終了しました。

次の本会議は、11月11日午前10時から再開します。

本日はこれもちまして散会します。

散会 午後2時23分

~~~~~ ○ ~~~~~